

製品名: Rad GTPase ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16828**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	RRAD
別名	RRAD; RAD; GTP-binding protein RAD; RAD1; Ras associated with diabetes
遺伝子 ID	6236.0
SwissProt ID	P55042
免疫原	抗血清はヒト RAD 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 41-90

背景

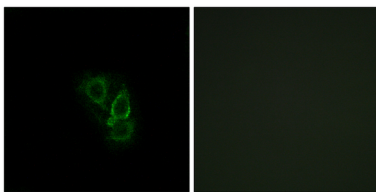
類似性: 低分子 GTPase スーパーファミリーに属する。RGK ファミリー。サブユニット: カルモジュリンと不活性型 GDP 型に優先的に相互作用する。in vitro で RAD をリン酸化できる CAMKII に結合する。組織特異性: 骨格筋、心筋、肺。胎盤と腎臓にも少量存

在する。脂肪組織にも検出される。II型糖尿病患者の筋肉で過剰発現する。類似性：低分子 GTPase スーパーファミリーに属する。RGK ファミリー。サブユニット：カルモジュリンと不活性型 GDP 型に優先的に相互作用する。in vitro で RAD をリン酸化できる CAMKII に結合する。組織特異性：骨格筋、心筋、肺。胎盤と腎臓にも少量存在する。脂肪組織にも検出される。II型糖尿病患者の筋肉で過剰発現する。

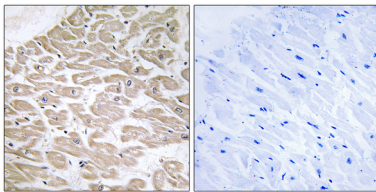
研究分野

-

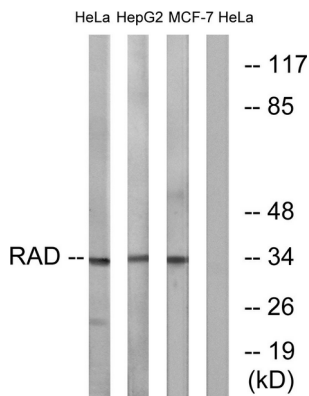
画像データ



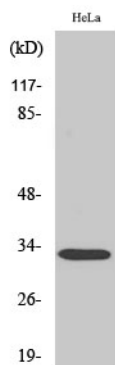
RAD 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



RAD 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



RAD 抗体を用いた HeLa 細胞および HepG2/MCF-7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーン合成ペプチドでブロッキングされている。



Rad GTPase ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析